



発行所 公益社団法人 高知県診療放射線技師会
発行人 会長 巴 昭彦
事務局 〒780-0850
高知市丸ノ内1丁目7番45号
総合あんしんセンター2階
TEL 088-872-4585

所 感

『ご挨拶』

副会長 大野 貴史

今年度から副会長を任されました大野です。高知医療センターの医療技術局で管理職をしております。いろいろな職種を含めての管理業務で毎日アップアップとなりながら業務しています。今の状況から「副会長」という責務を果たせる自信もなくお断りをしていたのですが、巴会長にできる範囲でいいからというお言葉に甘えて引き受けることになりました。

私は1988年に旧高知市立市民病院へ入職し、その年に技師会へ加入しました。この時代は加入することが当たり前（いつのまにやら引き込まれていた？）でしたよ。

当時の技師会だよりは、メール便など無く、印刷・地区別に分類などすべてがお手製でした。その印刷ですが、市民病院の集会所みたいな所に輪転機があり印刷・ページ毎にまとめ・郵送用封筒に入れる作業は編集担当理事と市民病院の職員が担当していたのかな？その影響で月末になると先輩に呼ばれて、印刷の手伝いを！

そうこうしているうちに、「活動部員」「地区理事」なるものが肩書に加わり、理事会への参加もさせて頂きました。当時の理事会は、大先輩方が多く緊張していたのを覚えています。技師会だよりにしても、文面の「です」「ます」が統一されていないと指摘されたりして。

大変なこともありましたが、徳島県から高知へやってきて職場以外の人脈が早々にできたのも技師会活動のおかげだと思っています。そんな技師会の役に立てるようにがんばってこの重責に耐えていこう！と思います。と言いながら、役員や会員の皆さんの力を借りつつ、出来る範囲をコツコツとになるかとは思いますがよろしくお願いします。

副会長就任のご挨拶がわりに所感を書かせて頂きました。

会の動き

令和3年度 第6回常務理事会

9月7日(火)、総合あんしんセンターにて第5回常務理事会を開催した。

お知らせ

告示研修(基礎研修)のお知らせ(再々掲)

大野貴史

日本診療放射線技師会のホームページに告示研修(基礎研修)のお知らせが掲載されました。医師のタスク・シフト/シェアを推進することから、診療放射線技師の業務を拡大するための法改正がおこなわれました。これにより、診療放射線技師の資格を有する者は、厚生労働大臣が指定する研修(以下、告示研修)を受けることが義務付けられています。告示研修は、「基礎研修(e-ラーニング)」と実技研修(会場型)から成り、実技研修を受講するためには、基礎研修の修了(e-ラーニングの受講および確認テストの合格)が条件となります。

JART ホームページ会員システムログイン方法は、

- ① 日本診療放射線技師会のホームページを開く
- ② JART 情報システム → 「ログインはこちらから」 をクリック
- ③ JART 情報システムログイン画面になりますので、必要情報を入力
- ④ はじめて JART 情報システム(JARTIS)をご利用の方へ
- ⑤ ログイン後「生涯学習」→「イベント参加申し込み」→「検索実行」

※本研修は7月31日(土)から申し込み可能となっています

地区会や勉強会などの Zoom 活用のお知らせ(再掲)

Zoom 担当理事 大川・見田

高知県診療放射線技師会で Zoom のアカウントを取得いたしました。

今後のコロナ禍により、本会では Zoom を利用した研修会や会議など、積極的に運用していきたいと考えております。

最近メールアドレスを変更した方など、いらっしゃるかもしれませんので、再度メールアドレスの確認のため、会員の皆様にメールアドレス確認をさせていただきます。

今後とも本会へのご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様のメールアドレスを大川までお知らせください。

連絡先 ots14familytaishou@yahoo.co.jp (大川)

また、地区会や勉強会などで Zoom を使いたい方は大川・見田までご連絡ください。

準備が整いましたら Zoom 担当理事より案内等を致します。

10月2日高知 Ai(オートプシーイメージング)研究会延期のお知らせ

担当理事 大川剛史

コロナ感染拡大のため、Ai 研究会は Zoom を使って行うことで検討していますが、Zoom 関連事業の運用準備のため、延期とさせていただきます。

日程が決まりましたら、お知らせ致します。

！ルー エッセー！

その208（大川 剛史：四万十町国保大正診療所）

大阪の清恵会第二医療学院の大先輩、高知大学医学部附属病院の伊東賢二技師長からバトンをいただきました。四万十町国保大正診療所の大川剛史です。

前走者の伊東さんは、診療放射線技師として常に新しい分野を開拓されており、私たちにいろいろなことを教え伝えてくださいました。へき地診療所の勤務の私にもお気遣いいただき本当にありがたく思っております。高知大学大学院ヘルスケアイノベーションコースが昨年度より開校されました。私も興味深々です。コロナ禍でなかなかチャンスがないですが、いつかは受験して放射線画像関連機器と超音波を使った慢性疼痛改善させる研究をやりたいなあと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

さて、なにを書こうかと迷っております……。コロナ禍で、Ai（オートプシメーキング）研究会はZoom、四国超音波USRTは来年にZoom開催に向けて準備中、2021NTRT兵庫（全国X線撮影技術読影研究会）はハイブリッド方式だがZoomで講演させていただいた。JSAiT（日本オートプシメーキング技術研究会）AMDA（The Association of Medical Doctors of Asia アジア医師連絡協議会）・国保連合会・高知県診療放射線技師会の理事会等の会議はZoomに……。

Zoom……。いまのコロナ禍ではZoomは欠かせなくなっております。

コロナにより働き方が大きく変化する中、Zoomによるビデオコミュニケーションは、仕事や学業を継続し、社会生活を送るためのライフラインとなりました。

多くの企業はリモートワークによる柔軟性と俊敏性を活用して、職員の生産性を犠牲にしないで働くことができるようになってきています。また、人材を育て、維持するためにも、リモートによる研修などに活かされており、日本診療放射線技師会でも使われてきています。パンデミックの影響で、都市部を離れ、遠隔地の地方で田舎暮らしを始め、仕事を応募したり、受け入れたりして、より地方に多様な労働力が生まれているようです。このように地方に若い人が増えている今、医療側にとってもリモートを活用して、地域医療を残し発展させていくことや人材の育成が必要になってくるのでしょう。

そのうち、診療放射線技師も在宅検査やAI診断が活用され、さらに時代が進めば、リモートワークの遠隔検査ということも、これからでてくるかもしれません。

コロナにより、世界は変わり、どこでも働くことができるような時代になりました。私たち診療放射線技師も協力してあらゆる障害を克服し、次の医療テクノロジーの時代を生き抜いていきたいものですね。

次の走者の方も私の尊敬する診療放射線技師、もみのき病院の水口紀代美技師長です！！本当に毎日を忙しく過ごされておりますが、高知大学大学院博士課程にて研究されており、いつも元気で、はつらつとしており、いつもわたしを応援してくださいます。それでは、もみのき病院の水口紀代美さんにバトンタッチ！！

総務報告（令和3年8月31日現在）

1. 高知県の会員数	<u>201</u> 名
2. 令和3年度会費納入者	<u>136</u> 名
賛助会員	<u>7</u> 社
3. 令和2年度会費納入者	<u>8</u> 名
4. 令和3年度新入会員数	<u>5</u> 名
(今月の新入会)	<u>0</u> 名
5. 令和3年度再入会員数	<u>0</u> 名
(今月の再入会)	<u>0</u> 名
6. 令和3年度退会者数	<u>0</u> 名
(今月の退会者)	<u>0</u> 名
7. 令和3年度転出者数	<u>0</u> 名
8. 令和3年度転入者数	<u>1</u> 名
(今月の転入会者)	<u>1</u> 名

(文責編集広報)